

令和4年度グローバル産地づくり緊急対策事業 (GFPコミュニティ構築支援加速化委託事業(地方版))

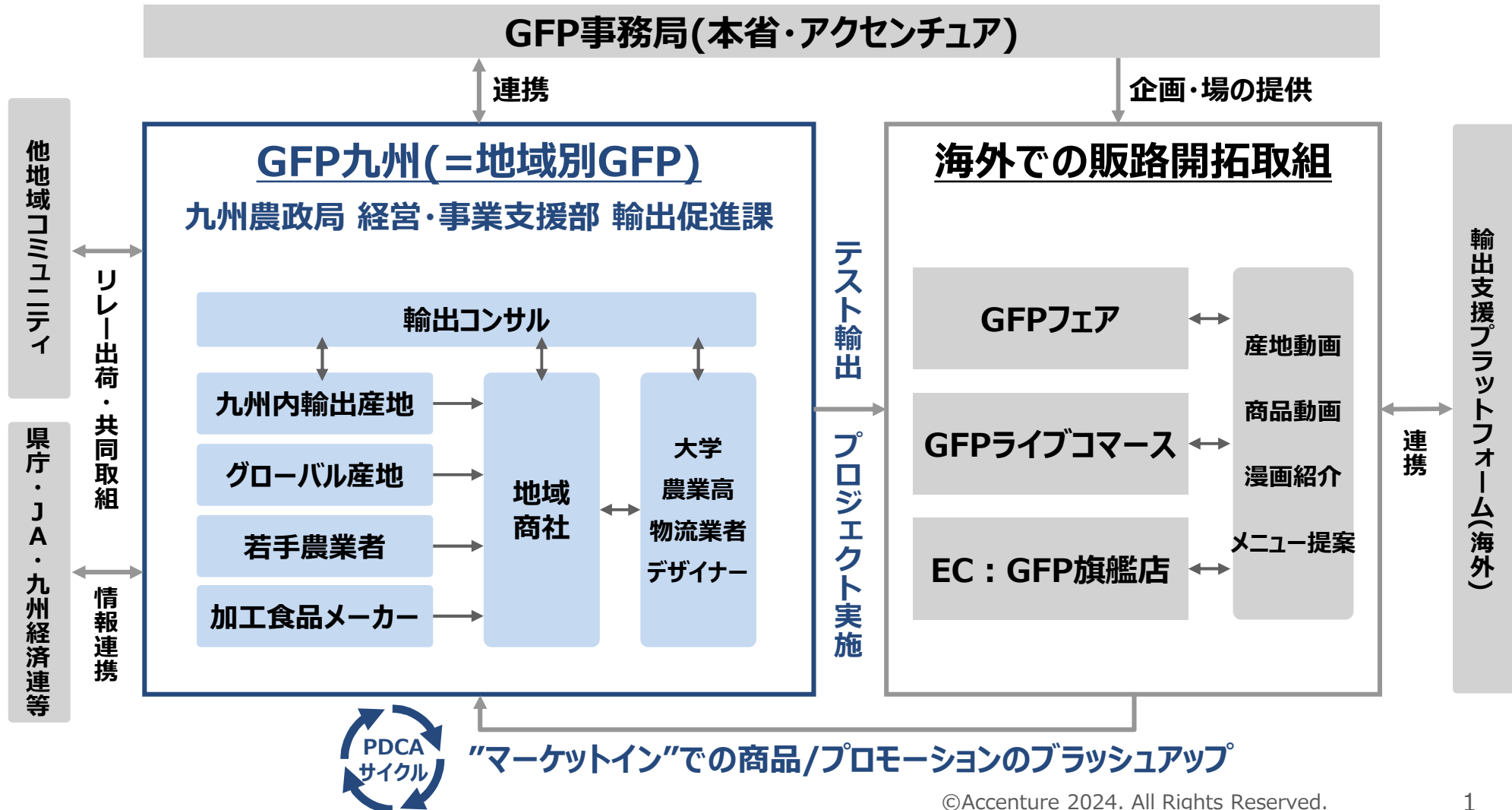
最終報告書 (九州南部の港からの輸出に向けた実証支援のみ抜粋)

アクセントチュア

2024年3月22日

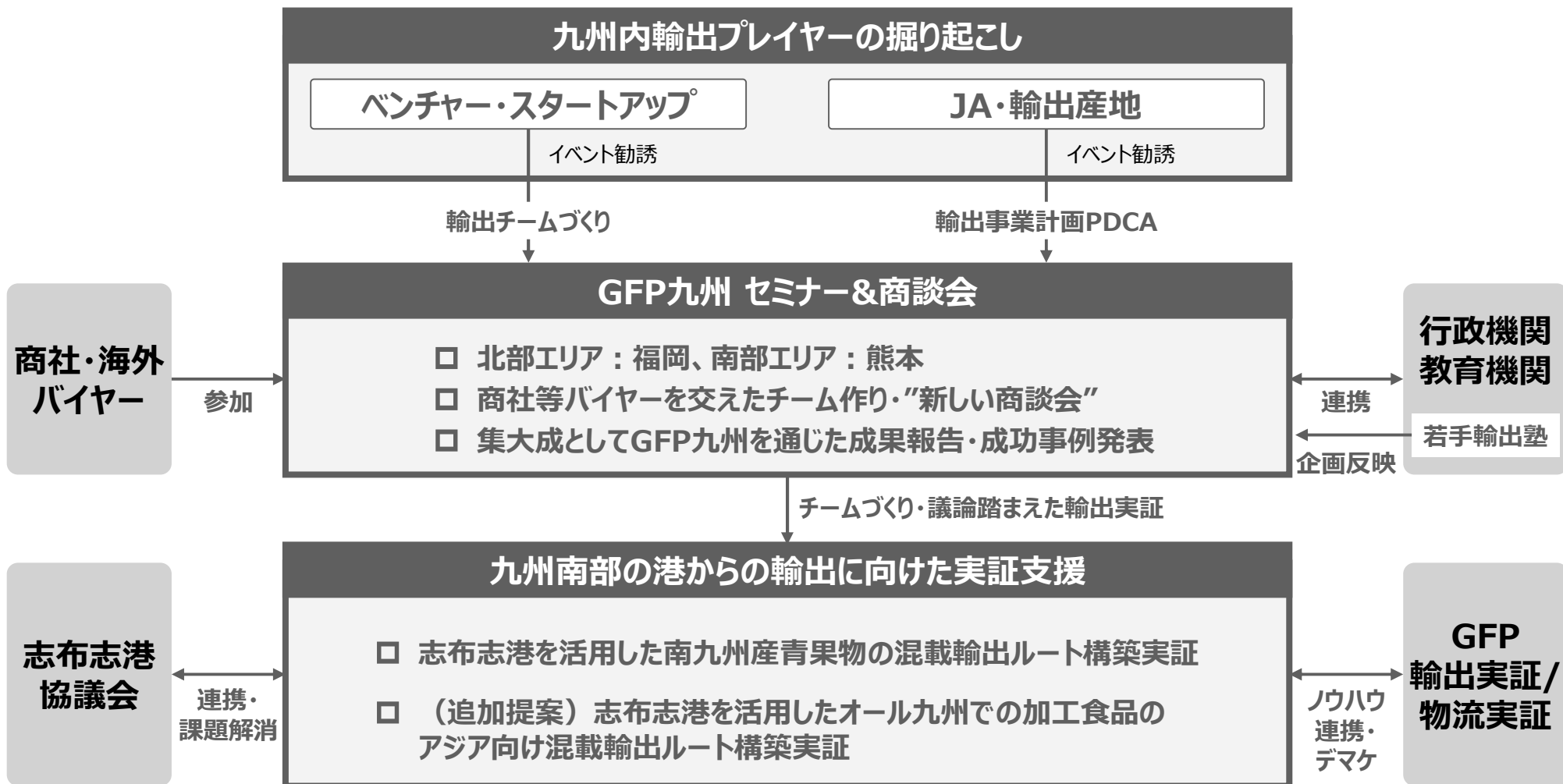
GFP九州(=地域別GFP)コミュニティのコンセプト

“GFP九州”を組成し、九州に特化して産地の掘起し・きめ細かな伴走支援・輸出実証
～海外での輸出取組を共同実施しながら、一気通貫でPDCAを回せる仕組みを構築。



“GFP九州” 事業の全体像

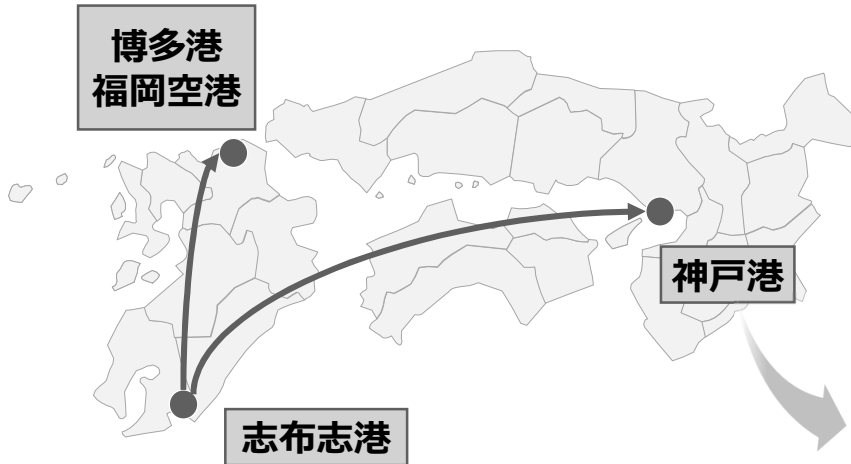
九州内輸出プレイヤーの掘り起こしを行いつつ、商社・海外バイヤーを巻き込んだ出口を見据えた輸出チームづくり・大ロット輸出実証を促し、持続的な輸出拡大に結びつける。





志布志港を活用した混載輸出ルート 構築実証

志布志の現状



- 周辺に農産物や畜産物の大規模産地を持つ
- 一方、志布志港は航路数が少なく、輸送日数も長く、抜港リスクが高い等、安定性に不安がある
- 南九州産品輸出でも、主に博多港や福岡空港、又は神戸港に輸送され輸出されることが多い
- 生産量の多い青果物のCAコンテナ輸出を試みたが、地方港はCA手配が難しく、輸送費も割高
- RFコンテナでの輸出スキームや、不安定許容度の高い品目(賞味期限の長い冷凍・ドライ品等)の輸出拡大が次の打ち手に求められる

志布志港輸出実証

目的

志布志港から、九州地域の複数の自治体の貨物混載による、リーファーコンテナ等特殊コンテナを活用した、鮮度保持手法の確立と、輸送コスト、現地到着時の品質面の比較検証を行う

実証テーマと理由

梱包規格統一

- 梱包規格統一で鮮度保持向上
 - 輸出可能な青果品目拡大
- 熊本と鹿児島との混載スキーム検討

加工食品混載

- 九州全域の加工食品混載
 - 輸出可能な加工品目拡大で、ロット拡大し、コスト競争力向上

台湾混載

- 宮崎産×加工品・青果の混載
 - エリア・混載組合せの継続性評価
- 新規航路の台湾向けで競争力確認

志布志港の課題・取り組むべき事項のとりまとめ

現状認識・強み

- 青果・水産・畜産産地が近いが、RF・CAコンテナ手配が難しい
- シンガポールは重視ポイントで神戸と志布志を使い分け
 - コスト重視は志布志
 - 輸送日数・便数・抜港リスク等、速度や安定性重視は神戸
 - 南九州商社は志布志、全国商社は神戸(集荷拠点次第)

今年度の具体的な取組内容

- 梱包資材統一した青果物輸出実証
- 加工品混載によるロット拡大輸出実証
- 青果・加工品混載による台湾新航路輸出実証

目指す姿

- 外航路のある台湾・中国・韓国向け輸出拡大。特に輸出しやすい台湾注力
- 品質リスクの低い品目(冷凍畜産・冷凍水産・加工食品)で志布志港輸出拡大
- 上記以外は志布志から内航路・RORO船・フェリーを充実させて神戸港輸出(志布志港は内航路で使用)
 - シンガポールは志布志集荷、神戸に内航輸送、神戸港から外航輸送に注力

課題・自立に向けて補助事業ですべきこと

【物流】

- 内航路・RORO船・フェリー充実の為、船会社向け補助(産地から神戸港までのトラック輸送を志布志港から神戸港までの海上輸送に切り替える)
- 南九州事業者の志布志港からの混載輸送費低減の為、ミルクラン集荷や一次集荷スキームを輸出チーム毎に形成。新規集荷スキームのトライアル輸送の為の補助、または一次集荷拠点としての施設増強補助

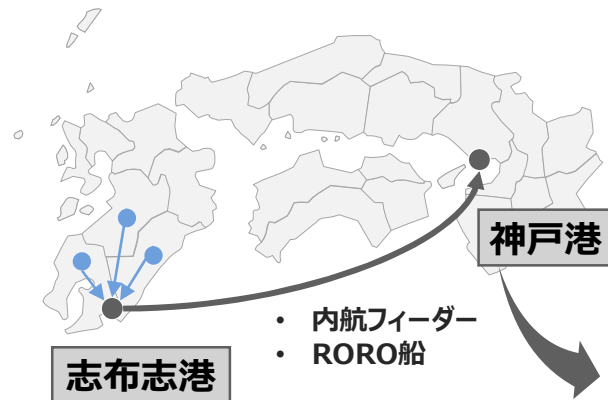
【商流】

- 南九州事業者の志布志港利用促進の為、トライアル輸出補助
- 南九州のスタートアップ・小規模輸出事業者育成の為、小口混載輸出補助
 - 規制が緩いシンガポールは、スタートアップ向きであり、トライアル実施に最適
- 南九州輸出事業者全般の海外販路拡大(マッチング機会の提供等)
 - 志布志港輸出でも鮮度保持可能なシンガポールは、志布志港利用拡大において重要輸出先国
- 南九州の輸出産地拡大
- 南九州の輸出熟度向上(台湾向け防除歴対応等)

志布志 vs 博多港 vs 神戸港 ～東南アジア向け航路比較

志布志港から外交路のない東南アジア向けは、内航船で神戸港まで輸送してから輸出。
博多港から東南アジア向けも神戸港を経由して輸出される。

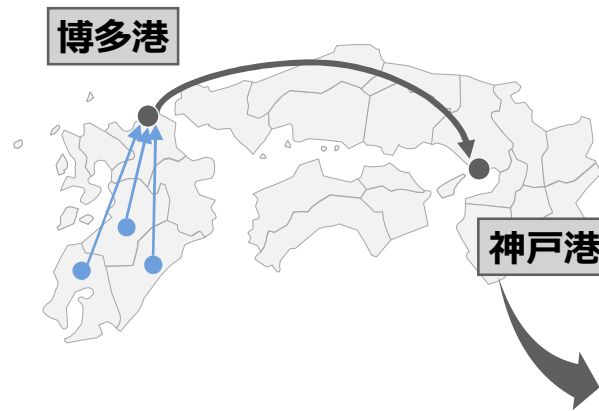
志布志港



産地(トラック輸送)

→ 志布志港(内航フィーダーなど)
→ 神戸港
→ 輸出

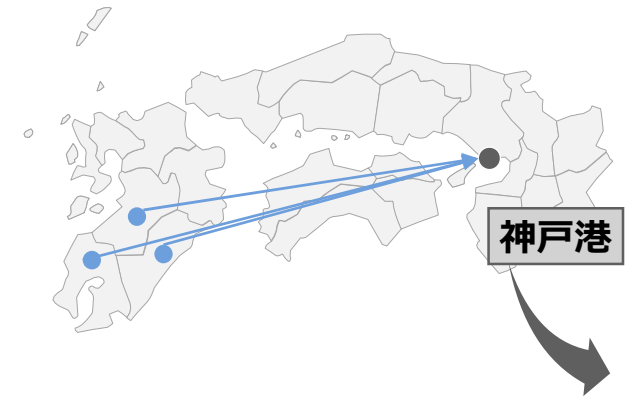
博多港



産地(トラック輸送)

→ 博多港
→ 神戸港
→ 輸出

神戸港



産地(トラック輸送)

→ 神戸港
→ 輸出

志布志 vs 博多港 vs 神戸港 ～青果物輸出における比較

志布志・博多港は安定性が欠ける為、大手商社の利用は限定的。地域商社は輸送費や検品・検疫の利便性で博多港利用はあるが、志布志港は補助前提の利用が多い。

比較ポイント		志布志港	博多港	神戸港
リスク	植物検疫	○ 不合格時に商品差し替えが容易	○ 不合格時に商品差し替えが容易	× 不合格時に商品差し替えが困難
	抜港	× 抜港多い × 便数少、変更の負担大	× 抜港多い × 便数少、変更の負担大	○ 抜港少ない ○ 便数多、変更容易
集約	ロット確保	× 産地範囲が南九州限定	× 産地範囲が九州限定	○ 産地範囲が広範囲
品質維持	輸送日数	× フィーダーで神戸経由の為、輸送日数が長い	△ 航路の寄港地多く、輸送日数が長い	○ 母船の寄港地であり、輸送日数を短く出来る
	国内鮮度保持	◎ 産地から近いので鮮度保持容易(CA化早い)	○ 産地から近いので鮮度保持容易	△ 産地から遠いので鮮度保持困難
コスト	国内輸送費	◎ 産地から近いので安い	○ 産地から近いので安い	× 産地から遠いので高い
	海上輸送費	△ 主要港並みか、若干割高	○ 主要港並み	○ 主要港並み

青果物輸出における比較 ～志布志港 vs 神戸港

志布志は輸送費が値上がりし、対神戸の優位性低下。輸送時間も神戸より長く、品質劣化リスクも高いが、遅延が無ければ影響は限定的。CAコンテナ手配も志布志の課題。

比較項目	R3年度実証	R4年度実証	
	シンガポール輸出	シンガポール輸出	タイ輸出
輸送コスト	○ トータル輸送費(産地～現地港)で志布志港が10万円程度割安	○ トータル輸送費(産地～現地港)はほぼ同額	× トータル輸送費(産地～現地港)は志布志港が10万円程度割高
輸送時間	○ トータル輸送日数(産地～現地小売店)で志布志港が5日程度短い	× トータル輸送日数(産地～現地港)で志布志港が6日程度長い	× トータル輸送日数(産地～現地港)で志布志港が2日程度長い
品質維持	○ 志布志港の方が産地からCA搬入が早く、鮮度保持で優れる	○ 志布志港でも鮮度保持可能(ミニトマト等の鮮度保持難度の高い物は除く)※ × 輸送日数が長く、遅延リスクも高い志布志港輸出の方が神戸港より品質劣化リスクは高い	
オペレーション (使い勝手)	× CAコンテナ手配から現地販売のリードタイムが長く、キャンセルリスクも高い	△ 神戸港共通で、今後の輸出拡大を踏まえると、一次集荷拠点のキャパ・オペレーションに不安	

梱包規格統一輸出実証結果 ～南九州産青果物を各港から輸出した場合の予想

志布志と博多は同条件、神戸は割高だが、時短・便数多・抜港リスク低等で安定。

	志布志港輸出※	神戸港輸出※	博多港輸出※
輸送ルート	・産地→志布志港(トラック) ・志布志港→神戸港(フィーダー) ・神戸港→シンガポール(外航船)	・産地→神戸港(トラック) ・神戸港→シンガポール(外航船)	・産地→博多港(トラック) ・博多港→神戸港(フィーダー) ・神戸港→シンガポール(外航船)
輸送コスト	・839,000円(税抜) ➢ 国内輸送：90,000円 ✓ 大型トラック1車×1日 ➢ 港湾関係：79,000円 ✓ バンニング、ドレージ、等 ➢ 海上輸送(CA)：670,000円 ✓ フレート、燃料費等	・875,000円(税抜) ※予想 ➢ 国内輸送：180,000円 ✓ 大型トラック1車×2日 ➢ 港湾関係：175,000円 ✓ バンニング、ドレージ、等 ➢ 海上輸送(CA)：520,000円 ✓ フレート、燃料費等	・839,000円(税抜) ※予想 ➢ 国内輸送：90,000円 ✓ 大型トラック1車×1日 ➢ 港湾・海上輸送：749,000円 ✓ 博多-ベトナムが780,000円 ✓ リーファーとCAの値差が45万円超で、志布志同様と予想
輸送時間	・シンガポール：21日 ➢ トラック輸送・志布志待機：4日 ➢ 内航路：2日 ➢ 神戸待機：2日 ➢ 外航路：9日 ➢ 現地待機・輸送：4日	・シンガポール：19日 ➢ トラック輸送：2日 ➢ 神戸待機：4日 ➢ 外航路：9日 ➢ 現地待機・輸送：4日	・シンガポール：21日 ※予想 ➢ トラック輸送・博多待機：4日 ➢ 内航路：2日 ➢ 神戸待機：2日 ➢ 外航路：9日 ➢ 現地待機・輸送：4日
品質保持	・葉物野菜・キンカンで品質維持可能	・青果物全般で品質維持実績	・実績無し

梱包規格統一輸出実証結果 ～纏め

	輸送実証1回目	輸送実証2回目
輸送コスト	• シンガポール： ¥ 838,470	• シンガポール： ¥ 885,200
輸送時間	• シンガポール： 21日 ➢ 志布志港搬入から現地店舗到着までの所要日数	• シンガポール： 19日 ➢ 志布志港搬入から現地店舗到着までの所要日数
資材コスト	• 215,900円(税抜) ➢ ベジタブルボックス： 1,150円×50枚 ➢ 抜型代： 158,400円	• 34,500円(税抜) ➢ ベジタブルボックス： 1,150円×30枚 ➢ 抜型代： 前回と同型なので請求無し
品質保持	• 梱包資材強度が不足しており、現地到着時に5段目以下に梱包潰れが発生 ➢ 今回は9段だが、低めの積載にする等の対応、または梱包資材の増強が必要 • 梱包組み立て時に誤った折れ目をつけると、梱包潰れに繋がる為、組み立て時に折れ目が出来ないような工夫が必要 ➢ 組み立て作業を発生させない等	• 大根に比べキャベツは1ケースあたりの重量が半分であるが、作った資材の強度が高くなかったため箱の潰れは初回同様発生（湿度も影響） ➢ 現地到着時、キャベツ自体に品質低下は見られなかった • リパック時や段ボールの折目があたり商品に傷が付くリスク有り ➢ なるべく産地で梱包する、折目が商品に当たらない等の工夫が必要

梱包規格統一輸出実証 (GFP九州)

PPIHとアライドコーポレーションで進める輸出向け梱包・パレット規格統一に向け、南九州生産者と志布志港関係者を巻き込んだトライアル輸出実証。

実証内容

輸出規格 梱包・パレット トライアル実証

- 海外バイヤー・輸出商社：PPIH・アライドコーポレーション
- 実証品目・産地：鹿児島産青果物(キャベツ・メロン・ほうれん草) + 熊本産青果物(ニンジン)
- スケジュール：3/19に志布志港でリパック作業
- 輸出先：シンガポール
- 輸送コンテナ：40ft CAコンテナ
- 実施内容
 - 前回同様の新規資材の輸出テストを実施
 - ✓ 30箱の試作梱包資材を東洋埠頭に納品
 - ✓ 東洋埠頭での梱包・パレタイズオペレーションを少量にてトライアル実施
 - 規格統一した梱包での輸送結果(箱の潰れ等)と現地での取扱い易さを確認

梱包規格統一輸出実証 ～参加事業者・品目一覧

#	生産者名	品目	輸送温度帯
1	ファームランド牧	青肉メロン、赤肉メロン	冷蔵
2	さかうえ	ピーマン	冷蔵
3	そはら農園 ※スタートアップ生産者	ほうれんそう	冷蔵
4	指宿やさいの王国	きゃべつ	冷蔵
5	ニシムラ※スタートアップ生産者	人参	冷蔵
6	大吉農園	カリケール	冷蔵
7	一里原園芸組合	小松菜、ほうれん草	冷蔵

スケジュール

時間	内容
3/19	志布志港：東洋埠頭倉庫に搬入
3/27	神戸港出航
4/3	現地港到着
4/7	店舗着

品質維持

- 大根に比べキャベツは1ケースあたりの重量が半分であるが、作った資材の強度が高くなかったため箱の潰れは初回同様発生（湿度も影響）
- 現地到着時、キャベツ自体に品質低下は見られなかった

輸送コスト

輸送コスト	885,200円(税抜) - 国内輸送費：179,300円 - 港湾関係費：5,900円 - バンニング、ドレージ、通関料、取扱料 - 海上輸送費(CAコンテナ)：700,000円 - フレート、燃料費等
資材コスト	34,500円(税抜) - ベジタブルボックス：1,150円×30枚 - 抜型代：0円(前回と同型なので請求無し)

課題

- 梱包資材統一については、後頁参照
- 資材費が高く、資材費価格の低減、または資材使用対象品目となる高価格帯に絞って使用
- 混載モデルと輸送コストについては、1便目と同様

梱包規格統一輸出実証 結果 ～梱包・パレタイズ時の纏め

実証品目

- キャベツ
 - 実証 1 回目の大根ではパレタイズ時に段ボールの潰れを確認したため、大根より重量の軽いキャベツを選択
 - 1ケースあたり、大根18kg→キャベツ9kgに軽減

リパック作業

- 1ケースあたり8玉で梱包。段ボールに丁度収まり、輸送時に動く可能性も少ない
 - しかし、現在の段ボールでは10玉/ケースで梱包しているため、実証の段ボールを用いると全体の積載量が減少する懸念あり
- 所要時間
 - 梱包組み立ての所要時間は1分7秒/ケース
 - 大根のケース詰める作業の所要時間は、1分00秒/ケース

パレタイズ作業

- 7段積
 - 前回の9段積みはパレタイズ時に潰れが発生したため7段を選択。男性であれば踏み台等なくとも積載可能
 - パレタイズ時には潰れが発生しなかったため8～9段積みも可能性有
- リパックからパレタイズまでの作業労力は3人時
 - 梱包材組み立て、リパック、パレタイズの合計時間は3人で1時間

梱包規格統一輸出実証 結果 ～規格統一梱包の現状・課題

組立て作業は慣れで時間短縮可能だが、折れ目を付ける場所に注意が必要。リパック作業は大根に比べ容易だが、作業時や段ボールの折目部分で傷がつく可能性有り。

段ボール組立て



- 段ボールの組立ては1回目で慣れた人もおり、平均で前回よりも約30秒/ケース短縮（最短で55秒/ケース）
- 誤った部分に折れ目を付けてしまうケースも見られた
 - 積載時に折れ目が付いた箇所から潰れが発生する原因になるため、慣れるまでは確認が必要（右下）

リパック



- 1ケースあたりキャベツ8玉を梱包(約9kg/ケース)
 - 段ボールに丁度収まり、リパックは容易
 - 現在は1ケースあたり10玉で梱包しているため、1パレットあたりの積載量が減少する懸念がある
- リパック時に、商品に傷が付くリスクあり
 - リパック時や写真赤丸の段ボール折目があたり傷が付くリスクあり、梱包時に工夫が必要(左上)

梱包規格統一輸出実証 結果 ~パレタイズ・フィルム巻きの様子

7段は男性であれば積載可能で、キャベツは大根に比べ軽いため爪を組み合わせた積載も容易。フィルムを巻くことで安定するが密封度が高く、穴を空ける等の工夫が必要

パレタイズ



- 第一回目の反省を活かし、7段でパレタイズを実施
 - 男性であれば踏み台等なくとも積載可能(左上)
- 爪の組み合わせに注意した積み上げが必要だが、前回よりも軽いため、作業はスムーズに進行
 - 特に大きなズレも生じなかった
 - 赤丸のように梱包資材組立て時の誤った折り目が見られたが、潰れまでは至らなかった(右下)

フィルム巻き



- フィルムを巻くことで段ボールがズれることなく安定
- 必要時間は、1パレットあたり約3分
- 上部と下部しか隙間がないため、密封度が高く、通気性の悪さや湿度の増加によるダメージ発生が懸念される
 - 通気性を良くするため、数か所に穴を空ける等の工夫が必要

梱包規格統一輸出実証 結果 ～梱包・パレタイズ時の総括

全体課題

- 梱包組立てとリパック作業の負荷はあるが、キャベツなど品目によっては負荷は減少
 - 所要労力が全体で3人時と大根の1/3に減少し、産地対応も視野に入る
 - パレタイズは予め最大耐荷量を把握する必要がある
 - 段ボールの積載量が従来のキャベツ10玉/ケースから8玉/ケースに減少
 - 折目を付ける場所など間違えた組立てをすると、パレット全体の強度が損なわれる
-

梱包資材改善案

- 品目に応じた規格統一梱包も何種類か準備する
 - 品目に合わせて段ボールの高さ・厚さ等を調整
 - 海外の輸送梱包を参考にして、被せの段ボール使用も検討
 - 折目部分が段ボール内側に入らないような設計を行う
 - 爪がなくても、梱包のズレを防ぐ為、摩擦係数の高い素材で梱包資材を作る、または、梱包の底面に摩擦係数の大きい素材を貼る・塗る
-

次輸送に向けた取組

- 輸送結果を確認して、資材改良・梱包品目について、資材メーカー・真菜・PPIHで打ち合わせを実施 予定

台湾混載輸出実証(GFP九州)

台湾向けにネイバーフッドの柑橘を中心に、宮崎県の甘藷・加工食品の混載輸出実証。
国内輸送の効率化と甘藷に寄せた輸送温度(8℃)での他品目の品質保持を検証。

実証内容

台湾混載 輸出実証

- 海外バイヤー・輸出事業者：天水生技有限公司・ネイバーフッド
- 実証品目・産地：宮崎産青果物(みかん・甘藷) + 宮崎・熊本産加工食品
- スケジュール：2/28バンニング、3/2出港
- 輸出先：台湾
- 輸送コンテナ：20ft RFコンテナ
- 実施内容
 - 新規運航の志布志-台湾航路の所要日数・遅延リスクを確認
 - スタートアップ生産者の輸出拡大に向けて、現地ニーズと台湾輸出手続きへの対応可否を確認
 - ネイバーフッド一次集荷拠点モデル実現に向けた現状と課題の把握
 - 最適輸送温度が異なるみかんと甘藷を、間の8℃帯で輸送し、鮮度保持を確認

台湾混載輸出実証 ～参加事業者・品目一覧

#	事業者名	品目	輸送温度帯
1	ネイバーフッド(宮崎)	みかん8kg×3ケース	8℃
2	ベジエイト(宮崎)	甘藷10kg×3ケース	8℃
3	高千穂ムラたび(宮崎)	ちほまる6種、おぬかさん2種、ライスブランビスコッティ4種	8℃
4	ROPES(宮崎) ※スタートアップ	無添加九州ベジイーとドレッシング3種	8℃
5	古今堂(熊本) ※スタートアップ	フォンダンフロマージュ(焼菓子)2種	8℃

スケジュール

時間	内容
2/26	ROPES商品をネイバーフッドに集荷
2/27 AM	みかん・甘藷・ROPES商品を志布志集荷
2/27 AM	甘藷のセンチュウ検査
2/28	植物検疫・バンニング・CY搬入
2/29	輸出通関申告許可
3/1	CYカット
3/2	志布志発
3/6	基隆港着
3/15	現地通関許可

品質維持

- 甘藷もみかんも品質維持に問題はなかった
- 今回輸送の加工食品も品質に問題はなかった

輸送コスト

国内 輸送費

- 3,450円(税抜)
 - ROPES - ネイバーフッド : 1150円(宅配)
 - ネイバーフッド - 志布志 : 0円(自社輸送)
 - ベジエイト - 志布志 : 0円(自社輸送)
 - 高千穂ムラたび - 志布志 : 1150円(宅配)
 - 古今堂 - 志布志 : 1150円(宅配)

海上 輸送費 等

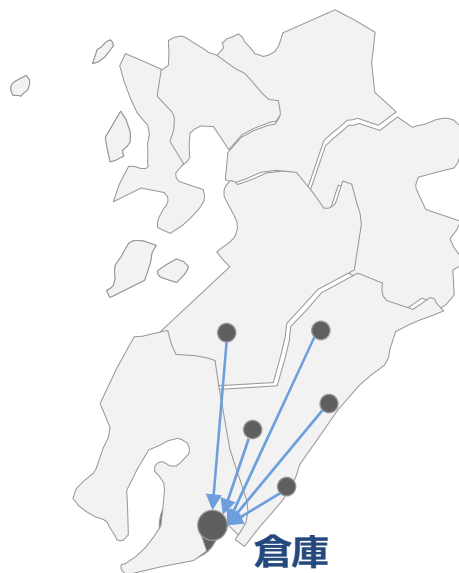
- 300,000円(税抜)
 - OCEAN FREIGHT : USD850
 - 通関等港湾関係費・現地調整費

課題・気付き

- 【課題】ミルクラン集荷体制の構築
- 【課題】台湾向け輸出は台湾標示ラベルが必要で、公的分析センターでの栄養成分分析も必要。ラベル作成対応の体制構築が必要
- 【気付き】青果と加工食品を混載し、通関を分けた場合、インボイスから分ける必要がある

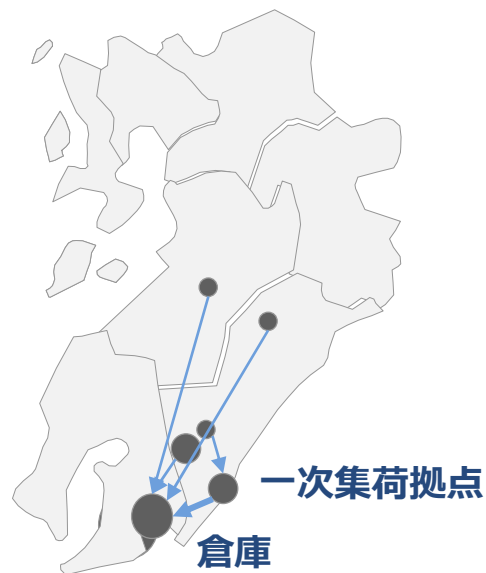
台湾混載輸出実証 結果 ~コスト・オペレーション比較

現状



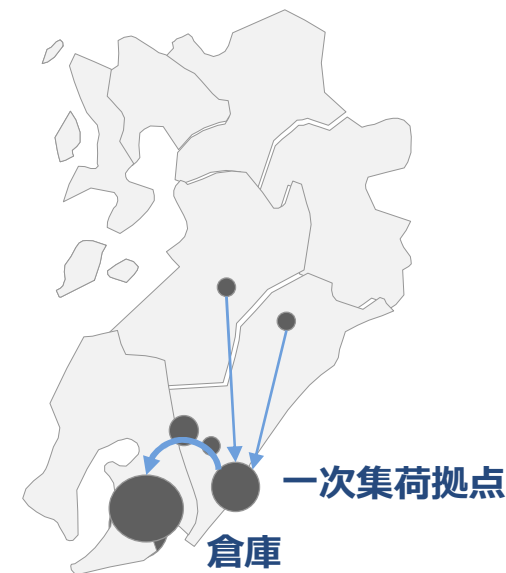
個別輸送

当実証



一次集荷利用

目指す姿



一次集荷+ミルクラン

輸送 コスト

- 自社トラック：2万円×2台
- 宅配便：3,600円
 - 1,200円×3ケース

- 自社トラック：2万円×2台
- 宅配便：3,600円
 - 1,200円×3ケース

- 自社トラック：2万円×1台
- 宅配便：2,400円
 - 1,200円×2ケース

オペレー ション

- 志布志港に集荷場所にバラバラ届くので倉庫負荷が大

- 一次集荷拠点に一部貨物を纏めるので倉庫負荷を低減

- 一次集荷拠点に貨物を纏めるので倉庫負荷が小
- 一次集荷拠点にて検品・ケースマーク確認可能

台湾混載輸出実証 結果 ～台湾輸出の特別対応

みかん

- 現地にて、残留農薬検査を抜き打ち実施

甘藷

- 現地にて、残留農薬検査を抜き打ち実施
- 用途が種芋でない必要がある

ドレッシング

- FDA検査で600gサンプル抜き取り
- 醤油の成分検査が必要になるケースがある(台湾での成分分析費は45,000円程度)

甘酒 (ちほまる)

- FDA検査で600ccサンプル抜き取り
- 乳酸菌が入っている場合、製造成分証明書が必要になる(乳酸菌種類の確認)

乳製品

- FDA検査で600gサンプル抜き取り
- 乳製品衛生証明書が必要
- マーガリン使用品は部分水素不使用証明書が必要

- 台湾標示ラベルが必要
 - 公的分析センターで栄養成分分析をやるべきだが、費用が高い
 - 一応、マニュアル(手計算)での栄養成分数値を標示することは認められており、サンプル等はマニュアル算出も可能
- FDA輸入検査に1か月かかることも多い
 - 青果と加工品を一緒に輸出する場合は、ブッキングを2つに分けて、先に青果を通関する
- 製造地証明書の原本が必要

台湾混載輸出実証 結果 ～山下回漕店での立ち合い作業

志布志港の山下回漕店でみかん・甘藷等の商品を集荷、常温保管、パレタイズを実施。パレタイズ時にはフィルムで固定したが、みかんは呼吸量が多いので通気口が必要。

みかん・甘藷の梱包状態



- ネイバーフードのみかん(左上)、ベジエイトの甘藷(右下)の山下回漕店での状態
- バンニングまでは常温倉庫で常温保管

みかん・甘藷のパレタイズ



- ビニールフィルムでみかん・甘藷の梱包をパレットの上で直接巻いて固定
- みかんは呼吸量が多いので、ビニールに通気口を開けた

台湾混載輸出実証 結果 ～山下回漕店での立ち合い作業

加工食品の台湾輸出は通関時に必要な書類が増える可能性がある。志布志港は倉庫群からCYが近く、最近はCY通関も増えており、利便性が向上している。

加工食品梱包状態



- 加工食品は現地に台文ラベル送付が必要
 - 商品規格書送付も必要
 - 成分次第で製造工程表も必要
- 山下回漕店の倉庫は保税蔵置場
- パレタイズ時にフィルムで固定

バンニング



- 志布志港は倉庫群横にCYがある(コンテナpickが速い)
- 志布志港はCY通関(CY内で通関を行うこと)も多い
 - 産地バンニングが増え、CY通関も増加
 - CY通関の方が手続きが簡単。倉庫としても楽
- 大型X線検査が発生した場合、CY通関だとCYから一度引き取る手間が発生

台湾混載輸出実証 結果 ~山下回漕店での立ち合い作業

2/27にセンチュウ検査、2/28に検疫を実施し、2/28午後には検疫証明書が発行。
CYへのコンテナ搬入時には、損傷時のエビデンスとしてEIRのコピーの手配が重要。

検疫証明書



- 検疫証明書は検査から24時間で発行
- 検疫証明書は植物検疫と線虫検査結果を兼ねる

コンテナ貨物搬入時の提出書類



- EIR(写真右)の原本は船会社が発行
 - 山下回漕店でコピーし、船会社に返却
 - コンテナ損傷があった際のエビデンスになる